

## 第7回 国連CEFACT 観光部会 議事録 (2022・11・17<木>)

### 出席者 (敬称等略)

JASTPRO 参加者：秋田、清友、徳

JTREC 参加者：志方、永昌、中込、鈴木、大西、坂井、板垣、下田

議題 1. EPs プロジェクトの活動経緯 (鈴木)

議題 2. UN/CEFACT 総会で承認された EPs プロジェクト成果物とは  
(鈴木)

議題 3. EPs プロジェクトの今後の進め方と意見交換 (鈴木)

議題 4. EPs プロジェクトの成果物の活用と意見交換 (鈴木)

上記議題 資料にて説明

### 質疑

(秋田) EPs 事業展開に於いて供給者側だけの視点・努力だけでは難しい！？特に SDGs との絡みで、旅行者側の視点・意識 (教育) の変革も必要と考えるが (思われるが)

(鈴木・回) 御意見の通りです。作り側だけのテーマでは無く、世の中の動き・ニーズを見ながら展開する必要がある。標準は追随型が多いが、それを出る (越える) 様な検討が必要。(部外者の1意見 WEB3.0<現在想像外の巨大なネットワーク>の展開に新しいパラダイムを期待する所がある)

(志方) この成果を日本国内に止まらず、特にアジアで展開出来ていけば、と。情報、現在アメリカでオンライン旅行会社が集まり会議をしている。コロナ前はバスツーリズムが主で世界各国で進められていた、ポストコロナではその対極でSDGs ツーリズムが出て来たのか、旅行者自身がバトライゼーション(?) という事で展開され、特にアジア全体で捉えるとその展開が期待される。

(鈴木・回) 新しい動きが出て来ています、今後とも力を発揮できればと思う。

本議題以上

議題 5. ST プロジェクトの進展状況 (中込、板垣)

資料に寄り説明

### 質疑

(秋田) EP はミクロな話で、事業者ベースで今後如何に実装されて行くかですが、ST はマクロで政策評価に繋がる話で事業者の評価も有りますが、(日本の) 官公庁とは連携しているのか？日本の観光政策には余りこのような観点が無い。観光庁とかとは連携しているのか？

(中込・回) 基本的にはしていない。昨9月官公庁の担当者とコロナ禍で面会できず電話のみです。台湾との連携は其中で実施されている。観光のDXが重要と成っている。

従来の観光から体験型に変わりつつあるので、この辺りを纏めて今後役所の方に提示して行きたい。

(秋田) 最近霞が関も政策評価をしているが、国交省はDX推進で補助金供出もする様だが、ホテルMGに関して主に予算化している、ST関連のデータ収集等には希薄な感。今後役所の方に説明等に出掛ける際はJASTPROも御手伝いしたいので御連絡下さい。

(中込・回) その節は是非宜しく御願ひ致します。

本議題以上

#### 議題6. その他

- 12月に開催されるフォーラムについて  
(近々資料を関係者に送付する)
- (永昌) 技術基準等が纏まったので、今後は体験プログラムの例を全日本的に如何にして集めるかが課題と考える、

以上